

**GC サーキット企画
再び発進!
今度の相手は世界だ!!**

190Eレースプロジェクト セパンへの道

撮影=武井企画 文=鈴木俊男
取材協力=
G-SONIC <http://www.g-sonic.jp/>
SPEED JAPAN <http://www.speedjapan.co.jp/>
(有)RS FINE (株) 武井企画
公式ブログ: <http://www.g-sonic.jp/>

**M.Benz 190E 2.3-16
Race Project
Road to SEPANG!!**

オトナの男たちが、大人気ないまでに190Eを遊びつくす! 目指すは日本一の190E! 2009年2月にマレーシアで行われる24時間耐久レースを目標に、ベンツ190E 2.3-16 モディファイ計画バク進中!



チャ武と打ち合わせをしているのは「RSファイ」代表の河野氏。スーパーGT「RE雨宮チーム」のRX-7を手がけていることでも名高いレーシングカーファクトリーが、我々が190Eのメンテナンスを請け負ってくれることとなった。河野氏のマシンを見る厳しい目に、応えるチャ武の口調にも自然と熱がこもってくる。



**今月はココが
日本一だヨ!
(当社比)**

「目指せ日本一の190E!」を旗印に集まった個性派メンバー4人。手始めに挑んだのが、真夏の12時間耐久章レースだった。過酷な気温と、長時間の限界走行。マシントラブルによりリタイヤするチームが現れる中、わがプロジェクトの190Eは、走行距離13万kmの車体とは思えぬ快調さで、着実に周回数を重ねていった。満足なテストもせずに臨んだにもかかわらず、190Eはノントラブルでの完走を果たし、その素性の良さや耐久性の高さを立証して見せたのだ。

次なるステップはマシンのさらなる改良だ。まず手付けたのは、点火システムのダイレクトイグニッション化と、オリジナルエアロパー

ツの開発。昔ながらのディスプレイからダイレクトイグニッションへ変更することで生まれるメリットは、トルクアップと燃焼効率の改善、耐久レースにおいて大きなアドバンテージとなるであろう燃費の向上だ。また、DTMを彷彿とさせるエアロパーツは、空力を味方に付けるといっただけではなく、「190E? ああ、奥様の古い小ベンツね」などと言う口を黙らせる強力な武器にもなるはずだ(これけっこう重要。10月25日に福島県のエビスサーキットで開催される6時間耐久レースへの参戦を決めたのは、それらモディファイのテストが目的であった……はずなのだけれど、コトはそうそううまく運ばないのだ。

ダイレクトイグニッション化は、パーツが揃うのに時間がかかり、大がかりな加工が必要となることも相

目指せ日本一!
個性派揃いの
強力メンバー!!



ボス松原
車両を提供してくれたG-SONICのオーナー。プロジェクトではドライバーも務める。国産外車を問わずクルマをこよなく愛する人。



武井寛史 (愛称・チャ武)
初代日本一速い男! ……に愛称をつけてもらったレーシングドライバー。今年はスーパーGTにシボレーコルベットで参戦中!



男臭いレースに潤いを与えてくれるチームの華G-SONICエンジェル。今後、取材にもちょくちょく登場する予定。彼女たちの詳細は、<http://www.g-sonic.jp/>にて!



スピードジャパン小澤
パーツ輸入商社スピードジャパンの社長。ユーザーから絶大な信頼を受ける豊富なパーツ知識は、当プロジェクトにおいても必要不可欠だ。



will コーポレーション小松
輸入車用ワンオフパーツの企画販売を手がけるWill コーポレーションの社長。無いものは作ってしまえ! をポリシーとする頼もしい人。

スケジュールの遅れに加えて レース出場直前に問題発生！ やはり予定通りには進まない!?



ようやく完成したエアロパーツのプロトタイプを目にして、動揺を隠せないチャ武。装着するためにボディの大きかりな切り張り手術を必要とするそれは、チャ武の予想をはるかに超える本気仕様のモノだった……。

右の写真はダイレクトイグニッション化するためのパーツの一部。取り付けにはこれまた大きな加工を必須とし、改造後に万一エンジンがかからないなどのトラブルが発生しても、簡単には元に戻せないというコワイ一品。



RS ファインで製作された6点式ワンオフロールバー。ドライバー保護だけでなく、もともと高い190Eの剛性を更にアップしてくれる役割も。横Gがかかった際に左足を支えてくれるドンビシヤな取り付け位置は、実戦で鍛えられたレース屋さんならではの完成度だ。



まって、レースには間に合わないことが判明。エアロパーツの開発も、職人気質な凝り性が災いし、完成が大幅に遅れることとなった。「テストするパーツも無いし、いっそエビスの参戦は見合わせるか……」となりそうなのだが、そうしないのがこのプロジェクトのオトナゲない大人たちの面々。「いったん走ると決めたら、走らなきゃ気が済まないもんね」なのだ。

ところがレース一週間前になって、新たな問題が発生。ロールバーを装着しなければ参戦できないということが分かったのだ。慌てたのはプロジェクトのプロデューサー的役割を担うチャ武選手。慌てて探してはみたものの、190E用のロールバーを在庫しているショップなど簡単には見付からない。そこで頼った

のが「RSファイン」。スーパーGTをはじめ、国内トップカテゴリのレーシングカーメンテナンスを事業としていたファクトリーだ。頼んでから4日後には、ワンオフ6点式のロールバーが、仕上がりも美しく見事に装着されていた。

何とかレースには出場できることとなったものの、現状では、日本の190Eというよりも、日本一いっぱいいっぱいいな190Eという感じ。果たしてどうなることやら……。そんな心配をよそに、ひとり能天気なチャ武選手。「このロールバー、スゲーきれいな仕上がりなんだよな！ 足元のトコなんか、横Gがかかったときに支えてくれる位置だけ。ここだけでも日本一って感じー！……とりあえず、日本一前向きな190Eって風味です。」

取材ウラ話



打ち合わせが行なわれたRSファインのガレージでは、おりしもRE兩宮チームのスーパーGTマシンをメンテナンス中。河野代表の厚意でコックピットに座らせてもらったチャ武は、「来年のスーパーGTはこのマシンで……！」と熱意をみなぎらせていた。近頃の「みなぎらせているのは下半身ばかり」のチャ武とはまるで別人！

来年はオレが……!!

筑波～もてぎでの イベントレースへ 続々参戦決定!

11月2日(土)は筑波サーキットでのスピードジャパン主催タイムアタックイベントに参加。12月6日(日)のツインリンクもてぎ3時間耐久レースへも参加決定!

NEXTチャレンジ!